

令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【臨床教育学研究科 臨床教育学専攻 修士課程】

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | ディプロマ・ポリシーの項目番号 | | | | | | | | | |
|------------|-----------|----|--|--|---|-----|----------|-----|----------|-----|-----------|-----|-----|---|
| | | | | | 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 知識・理解 | | 2. 技能・表現 | | 3. 思考・判断 | | 4. 態度・志向性 | | | |
| | | | | | 1-1 | 1-2 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 3-1 | 3-2 | 4-1 | 4-2 | |
| 22MCEC1001 | 臨床教育学総論 | 1 | 日本の臨床教育学の開拓の試みは、1990年ごろから、新たに始まった。そうした臨床教育学の構想を、本学の臨床教育学研究科で蓄積されてきた研究・教育の努力と到達を踏まえながら、整理して提示する。 | 受講生のみなさんには、本講義の内容との関連で、臨床教育学のイメージを描き、自分自身の研究関心を明確にしてほしい。 | ◎ | ◎ | | | | | | | | |
| 22MCEC1002 | 臨床教育学総合演習 | 1 | 子ども・若者の生育の過程、親・保護者の暮らしと子育ての営み、福祉・医療・心理臨床・教育、労働・行政・法律などの諸領域ではたらく「発達援助専門職」の実践などについての具体的事例を検討し、受講生のみなさんが、心理学・福祉学・教育学の研究視点の独自性と共通性を理解し、それらを総合しようとしている臨床教育学のイメージを具体的に描けるようにしたい。 | 領域横断的なカンファレンスの体験を通して、臨床教育的な事例報告とその検討の仕方を獲得することを目標とする。 | | | | | ◎ | | | | | |
| 22MCEC1301 | 課題研究Ⅰ | 1 | 受講生の関心領域に関する知見を文献研究によって広げることが目的としている。文献は、書籍、雑誌を用い、扱った文献の理論的背景、方法などについて批判的に読み解く。このことを通じて自身の修士学位請求論文の問題意識を明確にする。 | 修士学位請求論文の問題部分に関する理論的枠組みを構築するため、受講者の問題意識を、理論的に整理し、他の研究者や学生に説明できるようになることを目標としている。 | | | | | | | ◎ | | | |
| 22MCEC2302 | 課題研究Ⅱ | 2 | 各自の修士学位請求論文完成に向けての理論的検討と、関連諸領域の文献検討を通して、具体的研究の実現にある。 | 本授業の目標は修士学位請求論文の完成である。このため、次の各点までの到達が求められる。 1. 課題研究Ⅰにおいて明確になった各自の問題意識を文章表現する。 2. 研究の方法を明確化する。 3. 中間発表等の機会を通じて、自身の問題を批判的に考察できるようになる。 4. 修士学位請求論文の完成。 | | | | | | | | ◎ | | |
| 22MCEC1003 | 実地研究 | 1 | 自身の専門領域と異なる実践現場を訪問し、異なる視点から各自の実践や研究活動を振り返ることを目的としている。 | 自分の専門領域と異なる実践現場の見学を通じて、研究の広がりを得ることを目標としている。 | | | | | | | | | | ◎ |
| 22MCEC1004 | 調査研究計画 | 1 | 資料検索などを通じて各人の研究関心を明確にするとともに、研究目的の設定とそれに伴う研究計画の立て方を解説し、受講者は修士学位請求論文作成に向けて実践していく。 | 1. 自身の取り組むべき関心を見つけ、それを整理して説明できるようになる。 2. 関心ある領域の先行研究を的確に検索できるようになる。 3. 研究目的に応じた研究計画を立てられるようになる。 4. 調査および論文作成上の決まり（論文構成、引用の仕方、参考文献や注の書き方、倫理的配慮など）を知る。 5. アンケート作成の手順を知る。 6. 簡単な統計結果の読み方や検定の仕方を知る。 | | | | | | | | ◎ | | |
| 22MCEC2005 | 教育調査・統計法 | 2 | 教育に関する調査・統計を行うための基本的な考え方を身につけるとともに、統計ソフトSPSSを使用したデータ処理の仕方、および統計結果の読み方などについて学ぶ。 | 1. データの取り方、データの入力、確認の仕方を身につける。 2. SPSSを使用して、集計および基礎的検定の操作を覚え、その読み方、解釈の仕方を身につける。 | | | | | | | | ◎ | | |

